

1985年9月28日。ドリフの「8時だよ！全員集合」が長い歴史に幕を下ろしました。約16年間、全803回。日本のバラエティー番組史上の最高視聴率を記録した一方、ある団体からは低俗番組として放送中止の申し入れをされたこともありました。令和の今となっては、やりたい放題の昭和のあの頃が懐かしいですね。

## 知っここ！「税」のマメ知識

### 今月のマメ知識：【定額減税とは？】

2024年6月から所得税と住民税の「定額減税」がスタートしました。これは家計に影響を及ぼす物価高などの対策として「国民の負担を軽減する」ことを目的とした、1年限り行われる制度です。日本国内に住所があり、年間の所得金額が1805万円以下の方が対象で、納税者本人だけでなくその配偶者などを含めた扶養親族も対象となります。その額は1人あたり所得税から3万円、住民税からは1万円の合計4万円です。分かりやすく言えば、給与などが支給される際に所得税や住民税が減額されて、受取金額が多くなるという仕組みです。自営業者などの事業所得者の場合は、予定納税や確定申告の際にその適用を受けることができます。さらに「定額減税によって住宅ローン控除やふるさと納税の基準が変わってしまうのでは？」と心配する人もいるかと思いますが、これらについては基本的に影響ありません。また所得税や住民税の納付から減税しきれない世帯には、その差額が「給付金」として支給されます。



## 光を放つ 名言コラム

### 【老け役をやって楽になった】

溝口健二、黒澤明など日本を代表する映画監督の作品に数多く出演し、テレビでも活躍を続けてきた俳優の香川京子氏。90歳だった2年前に、日経新聞のインタビューで俳優としてのこれまでを振り返り「50代のときに老け役をやって、すごく楽になった。きれいにしなきゃという肩の力が抜けて無理なく演技ができました」と語っていました。若い頃に娘役を演じていた香川氏は、いつまでも若く、きれいであることを期待されていたでしょう。若くて元気いっぱいだった頃。無我夢中で働いていた頃。そんなかつての自分を思い出し、愛着を感じられるのはすてきなことです。それゆえに「あの頃に戻りたい」と思うこともあるかもしれません。しかし過去を再現しようとするれば無理が生じます。時は過ぎ、私たちはその先の今を生きているのですから。私たちが味わい、生かすべきときは過去にではなく、目の前にあります。

## 世界の偉人伝

### 今月の偉人：【ガウディ】

アントニ・ガウディは19～20世紀にかけて活躍した建築家です。スペインのカタルーニャに生まれ、幼少期は体が弱く、別荘での療養生活で自然観察に没頭しました。バルセロナで建築を学び、世に出した作品のうち「グエル公園」など7点が世界遺産に登録されました。未完の傑作「サグラダ・ファミリア」はあまりに有名です。曲線や細部の装飾、鮮やかな色彩など独創的なデザインの源は自然。「努めて読むのに適切な偉大な書物である」と自然を賛美し、建築で表現した人だったので。

排水溝のぬめりや臭いの予防として、丸めたアルミホイルを2〜3個ほど排水溝のカゴに入れてみましょう。アルミホイルが水に触れると金属イオンが発生し、排水溝で細菌が繁殖するのを防いでくれます。キッチンだけでなく、お風呂でも利用

知得する知恵袋

## 才人の言葉

天才は有限  
努力は無限

日本の陸上競技指導者である中村清の言葉。自分の才能に頼ってばかりでは、いつか限界が来る。しかし努力をし続ければ、自分の力をさらに伸ばすことができる。

## 振り向けばあそこにもここにも 商売のヒント

### 今月の商売のヒント：【商売の神髄は「和して同ぜず」】

仕事上で意見が割れたとき、あなたはどうか対処しますか？孔子の『論語』にこんな一節があります。「君子和而不同（君子は和するも同ぜず）」。これは「人と協力することはあっても、人の意見や態度にむやみやたらに同調しない」という教えです。この簡潔な一節には、商売の神髄ともいえる深い英知が秘められています。和するとは調和を保つこと。同ぜずとは、自身の個性を失わないこと。この、一見相反する2つの要素のバランスこそが、商売の成功へとつながる道だと思えます。たとえ少人数の会社でも、時には意見の食い違いから衝突することもあるでしょう。しかしその中で調和を見出しつつ、各々が自身の独自性を失わない。そう簡単にはいかないものではありますが、そこに価値ある対話が生まれるのは確かです。調和を保つとは単なる同調ではありません。それは相手の立場を理解



し、尊重する姿勢です。経営者といえどもチームの一員と捉えれば、全体の調和を乱さない配慮を持ちつつ、同時に自分自身の信念や創造性を失わない。この絶妙かつ微妙なバランスを保つことこそが、真のリーダーシップだと孔子は述べてい

ます。調和を重んじるあまり自己を殺してしまったり、逆に自己主張が強すぎて周囲とのあつれきを生んだりすることもあります。その狭間で揺れ動くのが経営者かもしれません。だからこそ孔子は「和して同ぜず」を「君子」の特質としてあげ、理想の姿として私たちに示したのでしょう。日々の決断の中で調和と個性のバランスを取り続ける。その積み重ねがやがて企業文化となり、会社の個性となっていくのではないのでしょうか。

## ナットク! 気になっていたあの言葉

### 今月の気になっていたあの言葉：【ビジネスケアラー】

仕事をしながら家族などの介護をする人を指す。少子高齢化や共働き世帯の増加などにより、その数は2030年時点で318万人に達し、労働生産性の低下に伴う経済損失は約9兆円にのぼると経済産業省が予測した。企業には柔軟な勤務形態の導入や、専門家による相談窓口の設置などの適切な支援を行うことが求められる。

## トナリの本棚

### 【とんでもスキルで異世界放浪メシ】

江口連原作、赤岸K作画の漫画。異世界に転移したサラリーマンの向田が、料理の腕前を生かして従魔と旅をする物語。冒険と料理に胸が躍る楽しい漫画です。



元氣と氣づきを提供する  
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>